

別紙様式 1 (第 12 条関係)

遺伝子組換え実験(第二種使用等)計画書

() 新規
() 変更(注 1)(承認番号)

平成 年 月 日

課題名 (第二種使用等の名称)(注 2)				
実施予定期間(5 年を限度とする) (注 3)		年 月 日から 年 月 日まで		
実験責任者 (注 4)	所属学部等(所属講座・分野等)の名称及び職名			
	氏名			
	住所			
		TEL		
		FAX		
		E-mail		
実験従事者	氏名	所属学部等・職名	宿主及びその取扱経験年数(注 5)	遺伝子組換え実験経験年数(注 6)
	実験責任者			
安全委員会が本実験計画の実施を適当と認める理由				
承認番号		安全委員長 所属部局・職名・氏名	印	

目的及び概要	種類（注 7）	1. 微生物使用実験 2. 大量培養実験 3. 動物使用実験（注 8） （ 1 ） 動物作成実験 （ 2 ） 動物接種実験 4. 植物等使用実験（注 9） （ 1 ） 植物作成実験 （ 2 ） 植物接種実験 （ 3 ） きのこと作成実験 5. 細胞融合実験（分類学上の科を超える細胞融合）
	動物使用実験を選択した場合	動物実験委員会へ （ ）申請中 （ ）承認済み 承認番号（ ）
	目的	
	概要（注 10）	
遺伝子組換え生物等の特性（別表を用いて記載しても良い）	核酸供与体	名称：
		種類 （ ）動物（ヒトを含む）（クラス 1） （ ）植物（クラス 1） （ ）微生物（原核生物及び真菌、原虫） （ ）微生物（ウイルス及びウイロイド） （ ）きのこ類 （ ）寄生虫
	核酸供与体が微生物、きのこ類、寄生虫の場合に記載	別表第 2（第 2 条関係）の記載 （ ）あり （ ）なし クラス（区分） （ ）1 （ ）2 （ ）3 （ ）4 （ ）不明 感染性や病原性に関して （ ） その他特記すべきこと （ ）
	供与核酸	（ ）同定済み核酸 核酸の名称等 （ ） （ ）未同定核酸

		哺乳類等に関する病原性に関係が ()なし()あり 哺乳類等に関する伝達性に関係が ()なし()あり 上記が「あり」の場合詳細を記載：
	ベクター（マップを添付すること）	名称： 由来： ()プラスミド ()ウイルス（由来： ） ()その他（ ）
	宿主	名称： 種類 微生物等 ()大腸菌 クラス() ()ウイルス クラス() ()その他 () クラス() ()動物（クラス１） ()植物（クラス１） ()その他 クラス()
	宿主・ベクター系に関して	()認定宿主ベクター系 B1 ()特定認定宿主ベクター系 B2 ()その他()
遺伝子組換え生物等を保有している動物，植物又は細胞等の特性（注１１）		
拡散防止措置		微生物使用実験 () P1 () P2 () P3 動物使用実験 () P1A () P2A () P3A () 特定飼育区画 植物等使用実験 () P1P () P2P () P3P () 特定網室 大量培養実験 () LS1 () LS2 () LSC
遺伝子組換え生物等を不活化するための措置		()オートクレーブ処理 ()その他の処理()
実施場所（部局名・講座名・実験に用いる部屋の名前）（注１２）		

拡散防止措置に関する施設等の概要（主要な設備及び機器の位置及び名称） （概要のわかる図面を添付すること）	
大臣確認	☐ 不要 ☐ 必要
その他特記すべきこと	

計画書記入要領

本様式の各項目に記入する。記入できない場合は別紙を添付し、該当項目に別紙番号を記入すること。

(注1) 変更点を赤字で記入すること。

(注2) 「課題名(第二種使用等の名称)」については、当該実験の目的及び概要を簡潔に表す名称を記載すること。

(注3) 「実施予定期間」については、予定している実験実施期間(5年を限度とする。)を記入すること。

(注4) 「実験責任者」については、当該実験を直接管理・監督する者について記載すること。

(注5) 「宿主及びその取扱い経験年数」については、宿主として使用する生物種の取扱い経験の有無及び経験年数を記入すること。なお、宿主が微生物、動物、植物を同時に含む実験計画の場合は、その宿主ごとについて記入すること。

(注6) 「遺伝子組換え実験経験年数」については、遺伝子組換え実験の経験の有無並びに経験年数を記入すること。

(注7) 「種類」については、当該実験が該当するすべての項目を選ぶこと。

(注8) 遺伝子組換え実験のうち、動物(動物界に属する生物をいう。以下同じ。)である遺伝子組換え生物等(遺伝子組換え生物等を保有しているものを除く。)に係るもの(以下「動物作成実験」という。)及び動物により保有されている遺伝子組換え生物等に係るもの(以下「動物接種実験」という。)をいう。

(注9) 遺伝子組換え実験のうち、植物(植物界に属する生物をいう。以下同じ。)である遺伝子組換え生物等(遺伝子組換え生物等を保有しているものを除く。)に係るもの(以下「植物作成実験」という。)、きのこ類である遺伝子組換え生物等に係るもの(以下「きのこ作成実験」という。)及び植物により保有されている遺伝子組換え生物等に係るもの(以下「植物接種実験」という。)をいう。

(注10) 「概要」については、当該実験に係る全ての遺伝子組換え生物等及び当該実験をする間に執る全ての拡散防止措置の区分について、当該実験の過程がわかるように記載すること。また、実験のフローチャートを添付すること。

(注11) 「遺伝子組換え生物等を保有している動物、植物又は細胞等の特性」については、注12の(1)から(4)までに掲げる項目のうち関係する項目を記載することに加え、当該実験に係る遺伝子組換え生物等を保有していない動物、植物又は細胞等と比べて、当該実験に係る遺伝子組換え生物等を保有している動物、植物又は細胞等に新たに付与されることが予想される又は付与される形質について記載すること。

(注12) 「実施場所」については、実験に用いる全ての実験室、実験区画、実験区域、飼育区画及び網室についてそれぞれ記載すること。

(別表) 遺伝子組換え生物等の特性

遺伝子組換え生物等及び拡散防止措置の一覧表

[illegible]